

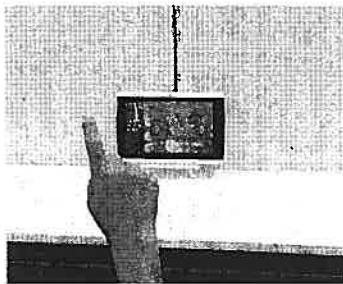
NECシステムテクノロジー

機器に触れず指の動きで操作



富山 社長

新たなUIとして
NECグループではこれ



「フィンガージェスチャー技術」のデモ

辺機器「Kineo」で認識システムを右回り、左回りに描く

操作は、カメラから1メートル程度の場所指を動かすのみ。指先での入力方法は円

操作は、カメラから1メートル程度の場所指を動かすのみ。指先での入力方法は円

操作は、カメラから1メートル程度の場所指を動かすのみ。指先での入力方法は円

操作は、カメラから1メートル程度の場所指を動かすのみ。指先での入力方法は円

操作は、カメラから1メートル程度の場所指を動かすのみ。指先での入力方法は円

操作は、カメラから1メートル程度の場所指を動かすのみ。指先での入力方法は円

操作は、カメラから1メートル程度の場所指を動かすのみ。指先での入力方法は円

操作は、カメラから1メートル程度の場所指を動かすのみ。指先での入力方法は円

操作は、カメラから1メートル程度の場所指を動かすのみ。指先での入力方法は円

操作は、カメラから1メートル程度の場所指を動かすのみ。指先での入力方法は円

操作は、カメラから1メートル程度の場所指を動かすのみ。指先での入力方法は円

操作は、カメラから1メートル程度の場所指を動かすのみ。指先での入力方法は円

操作は、カメラから1メートル程度の場所指を動かすのみ。指先での入力方法は円

フィンガージェスチャー技術開発

SDK製品化に向け提案

NECシステムテクノロジー（大阪市中央区）は、指の動作を小型カメラで認識し、タブレット端末などに直接触れることなく画面や機器の操作ができるようにする「フィンガージェスチャー技術」を開発した。この技術を使うことで、様々な電子機器に触れずに指先を動かすだけで操作できるようになる。ソフトウェア開発キット（SDK）を用意し、今後の製品化に向けて提案を始める。

開発したフィンガージェスチャー技術は、カメラなどで指先と手の中心、指の本数などを検出して、指の動きや動作を認識する。独自の開発を進めてきており、今回のフィンガージェスチャー認識も、新たなUIとして提案をしていく。

認識は、高精度センサーだけではなく、安価なカメラでも可能で、ウインドウパソコンからアンドロイド搭載の端末まで幅広いプラットフォームで動作する。高精度な認識や暗い場所での認識、独自のジェスチャーUIフレームワークにより専用のUIが作れるうえ、パソコン版では、既存のアプリケーションを必要とせずにジェスチャー操作に対応させることもできる。

実現できるほか、小型機器に組み込みたい場合などは汎用の小型カメラでシステム化できる。タブレット端末などに搭載された内蔵カメラでも問題ない。

「サークルコマンド」や、空間に仮想的な操作選択エリアを設定し機能を切り替える「ロケータリング」、右や左に指先を傾けて「フリック・コマンド」（オフショーン）を用意している。医療機器などで活用

この技術を使えば、デジタルサイネージ（電子看板）での操作や飲食店などのオーダー端末、衛生面での配慮が求められる医療機器の操作などで活用できるほか、会議でのプレゼンテーションの際に、キーボードやマウスなどを使わずに操作もできるようになる。一般の電子機器向けにはカーナビゲーションやテレビのリモコンの代用、デジタルカメラのセルフタイマーの代用としても使える。スマートフォンやタブレット端末に組み込むことで、遠隔操作や手がぬれてタッチパネルが使えないときの代替UIとしても活用できる。

富山卓一社長は「タブレットなど非力な端末でも高い認識率で動かすことができる。様々な用途での利用が期待できそうだ」と話す。今後は、製品化に向け提案などを行っていく。